

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月2日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	笠間市	代表者名	山口 伸樹
担当者部署	市長公室	連絡先電話番号	0296-77-1101
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	長谷川 尚一
住所	309-1792 茨城県笠間市中央3-2-1		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 泰一
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	DXを推進するためには、職員個々がDXについて理解する必要があること、単なる、ツールの寄せ集めがDXとはならないことを改めて理解できたこと。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年11月19日	14時30分	17時25分	45	130
	派遣形態	講演 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	幹部職員、各課IT担当職員	101 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	昨年度、笠間市デジタルトランスフォーメーション計画を策定し、実現に向けて推進しているが、所属によって取り組み意識に差異があり、一層の職員の意識醸成やDXの理解が必要である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	幹部職員や各部署のIT担当職員が研修により、DXの意味を理解し、意識醸成を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	幹部職員の研修：1時間、WEB会議方式 (各自席での視聴) IT担当職員の研修：1時間、WEB会議方式【集合研修】 内容：笠間市におけるDX推進を自分事として考える (専門用語の理解、DXの理解、DXの効果、データ活用による地域課題解決)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	アンケートによれば、回答者 (96名) 中41名は、演題の目標である「自分事としてDX推進を考える」ことに共感を示していること、21名からは、DXがよく理解できたやより積極的な回答を得たことから一定の理解は得たと思われる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修を実施して頂いた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今後も、継続的に、研修要望等を踏まえて、研修を実施していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付資料参照、この研修会の目的であったDXを自分事として理解することに関しては、部課長で約7割が、若いIT担当職員の5割で理解を示した。また、16名からは研修の希望が寄せられるなど、DXを理解したいという意欲も感じられた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	笠間市デジタルトランスフォーメーション計画の実現及び次の計画策定に向けた取り組みを進める。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

